

緩和ケア B	山 田 忍 教授
Palliative Care Exercise B	月 山 淑 准教授
	梅 岡 京 子 非常勤講師
	大久保 仁 司 非常勤講師
	大 野 智 非常勤講師
	栗 原 宏 貴 非常勤講師
	桜 井 なおみ 非常勤講師
2 年次前期・がん看護専門看護師コース必修	長 尾 充 子 非常勤講師
2 単位・60 時間	温 井 由 美 非常勤講師

【概要・目標】

特論Ⅰ～Ⅲの学習内容および緩和ケア A を基盤に，がん患者・家族に生ずる様々な苦痛・苦悩（身体的，心理的，社会的，霊的）を理解し，緩和ケアにおけるエビデンスに基づいた看護援助を検討する。

【授業内容・スケジュール】

1- 2. 緩和ケア B 履修に関するオリエンテーションと導入

- 1) 緩和ケア A の学びから，がん患者の全人的苦痛の捉え方と臨床判断のプロセスについて振り返り，がん看護専門看護師として，患者と家族への介入とその評価の方略について事例を提示しディスカッションする（講義・演習：山田）。
- 2) 学生が所属施設においてがん患者とその家族が，がんの告知直後からの緩和ケアの導入の現状と，治療法・治療内容を選択する際の医療者の関わりにおける問題・課題を提示，プレゼンテーションし告知後の早期からの苦痛緩和に関してディスカッションする（演習・山田）。

3-4. 告知を受けた苦悩への援助

- 1) 告知を受けた患者・家族の苦悩について統計的なデータを踏まえエビデンスに基づいた援助について教授しディスカッションする（講義・演習：桜井・山田）。
- 2) 告知を受けた患者・家族への援助の分析と評価を統計的なデータを基に教授し患者・家族が望む援助についてディスカッションする（講義・演習：桜井・山田）。

5-6 長期療養から終末期に移行した患者のケア

- 1) 乳がん患者の事例を提示し，再発への不安を抱きながら治療を継続するがんサバイバーへの緩和ケアについて教授する（講義：山田）。
- 2) 事前に長期療養から緩和ケア中心の治療に移行し短期間で死を迎えた乳がん患者の事例を提示し終末期における患者の身体的評価と苦痛を緩和するケアについてプレゼンテーションしディスカッションする（演習：山田）。

7-8. スピリチュアルケアの原理と実際

- 1) 村田理論を基に，スピリチュアルペインのある患者の症例を提示し，患者の身体的側面，社会的な背景，家族や社会との関係性などから患者の状況を捉えアセスメントに関して教授する（講義：大久保・山田）。
- 2) 終末期がん患者のスピリチュアルペインに関して，看護実践に向けて具体的な問題の見極め，ケア計画と実践に関して事例を提示し教授しディスカッションする（講義・演習：大久保・山田）。

9-10. End of Life にある患者・家族の理解と援助

- 1) End of Life にある患者・家族への理解の必要性和援助についてコンサルテーションの事例を基にがん看護専門看護師としての役割を踏まえた介入について教授す

る(講義：栗原・山田)。

- 2) 死が近づいた時の症状マネジメントについて症状観察のポイントと患者家族へのアプローチについてアセスメントのプロセスを含む事例を交え教授しがん看護専門看護師としての役割と介入についてディスカッションする(講義・演習：栗原・山田)。

11-12. スピリチュアルケア事例検討

- 1) 痛みコントロールに難渋したスピリチュアルケアの事例を提示しアセスメントのプロセスと介入に関して教授しディスカッションする(講義・演習：月山)。
- 2) 在宅療養への意向に難渋した事例を提示し患者の全人的苦痛のアセスメントと家族へのアプローチについて教授しディスカッションする(講義・演習：月山)。

13- 14. 緩和ケアに関する今日的と課題

- 1) がん医療に携わる医療従事者への研修や緩和ケアチームなどの機能強化について具体的な教育と問題・課題、今後の展望に関して教授する(講義：月山)。
- 2) 超高齢化社会における終末期医療の現状(ホスピス・緩和ケア施設の状況や家族の役割への負担など)と課題について学生は事前学習しプレゼンテーションしがん看護専門看護師の役割についてディスカッションする(講義・演習：月山)。

15-16. 緩和ケアにおける介入研究

- 1) 緩和ケアにおいて、がん患者の闘病意欲、セルフケア能力を高める看護師が行う介入研究(先行研究)を提示しエビデンスに基づいた看護の介入研究での効果とその評価についてディスカッションする(講義：山田)。
- 2) 学生が看護の介入研究に関する先行研究を提示し、臨床でのスタッフ教育と文献の活用、がん看護専門看護師としての役割をディスカッションする(演習：山田)。

17-18. 看護に活かす補完・代替療法(医学的見地から)

- 1) がん治療における補完・代替療法の概要、がん治療における補完・代替療法を希望する患者・家族への援助について教授する(講義：大野)。
- 2) 代替療法の分析と評価、今日的課題について教授する(講義：大野)。

19-20. 看護に活かす補完・代替療法

- 1) 代替療法の分析と評価の方法について、QOL 尺度と現場での活用方法について、先行研究によるエビデンスを踏まえたがん看護専門看護師として活動の事例を提示し教授する(講義：梅岡・山田)。
- 2) 看護に活かす補完・代替療法に関して介入事例を提示、教授しディスカッションする(講義・演習：梅岡・山田)。

21-22. 緩和ケアコンサルテーションの実際

- 1) 臨床でがん看護専門看護師が縦断的に活動している中での緩和ケアの事例を提示しアセスメントのプロセスと目標の設定、ケアの立案に関して教授する(講義：温井・山田)。
- 2) 緩和ケアチームにおけるがん看護専門看護師の役割について臨床での活動内容を基に教授し役割についてディスカッションする(講義・演習：温井・山田)。

23-24. グリーフケア

- 1) グリーフケアの意義について教授する(講義：山田)。
- 2) グリーフケアを行った家族への援助の実際の事例を基にそのプロセスと分析および評価とがん看護専門看護師としての実践の事例を提示、教授しディスカッションする(講義・演習：山田)。

25-26. 地域緩和ケアコンサルテーションの実際

- 1) 地域在宅緩和ケアと多職種チーム連携について訪問看護を専門とするがん看護専門看護師の立場から実践例を挙げ教授しディスカッションする(講義・演習：長尾)
-

- 2) 病院から地域への流れの中で看護師に臨むこと、看護師の看護師の役割について訪問看護を専門とするがん看護専門看護師の立場から実践例を挙げ教授する(講義:長尾)
- 27-29. 地域緩和ケアの実際
訪問看護を専門とするがん看護専門看護師の実践の場に出向き(あるふぁ訪問看護ステーション)がん看護専門看護師としての訪問看護の実際、外部コンサルテーションなど活動を見学しがん看護専門看護師の思考と技術を修得する(講義・演習:長尾)。
30. まとめ:授業内容を基に、所属施設の現状と課題、取り組みについて、がん看護専門看護師としての役割を考察しプレゼンテーションしディスカッションする(演習:山田)。

【評価】

下記の事項について、総合的に判断して評価する。

1. 事前学習、授業の中で紹介する文献の読み込みとその理解状況(プレゼンテーションおよび意見交換) 30%
2. 出席状況と授業への取り組み、経験を元にした問題意識と今後の課題への気づき 40%
3. 地域緩和ケアの実際でのがん看護専門看護師の活動を見学しての学びについての課題レポート 30%

【テキスト】

配布資料

がんプロ e-learning での自己学習

【推薦参考図書】

1. 垣添忠生:妻を看取る日, 新潮社, 2009
2. 柳沢和子:がん患者学Ⅲ, 中公文庫, 2004
3. 樋野興夫:がん哲学, EDITEX, 2011
4. 柳田邦夫, 南裕子他:生と死の21世紀宣言, 青雲社, 2007
5. 高垣忠一郎:生きることと自己肯定感, 新日本出版社, 2010
6. 内富庸介, 小川朝夫(編集):精神腫瘍学, 医学書院, 2011
7. 粕田 晴之 高橋 昭彦 村井 邦彦 泉 学 益子 郁子(編著):こうすればうまくいく在宅緩和ケアハンドブック 第3版【電子版】中外医学社 2019
8. 大野智:民間療法は本当に「効く」のか:補完代替療法に惑わされないためのヘルスリテラシー DOJIN 選書 2022
9. 大野智:健康・医療情報の見極め方・向き合い方-健康・医療に関わる賢い選択のために知っておきたいコツ教えます 大修館書店 2020

【その他】

連絡先:yamada-s@wakayama-med.ac.jp(山田)

totoro@wakayama-med.ac.jp(月山)